

## 種目【社会科】

書名 項目	<h1>新しい社会</h1>	2 東書
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習や生活の基盤となる言葉を抽出し、学習内容の確実な習得に役立てようとしている。            ○随所に「まなび方コーナー」を設け、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」場面に応じた学び方を具体的に提示し、学習技能を系統的に習得できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○「社会的な見方・考え方」が一目で分かるよう、キャラクターのイラストの種類を目じるしとした囲みを提示している。「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と方法（「考え方」）で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいか、明確に分かるようになっている。            ○「まとめる」場面では、文書でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○各学年の最初に「社会科の学習の進め方」が明記され、主体的に楽しく学ぶことができる。学習問題をつくった後の「調べる」段階で、対話的な学びを様々な場面で提示するなど、見通しをもって学習が進められるようになっている。            ○社会に生きる人々の姿が多数掲載されており、多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、地域社会の一員として自分のこれからの生き方について考えることができるようになっている。         </p> <p> <b>&lt;学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>            ○単元ごとに「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」が明示されている。更に、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階（つかむ、調べる、まとめる、いかす）が目立つ形で示されており、問題解決的な学習を促している。            ○「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができるよう、話し合いの場を重視し、イラストを適所で示している。また、まとめる場面では、学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程を分かりやすく示し、深い学びにつなげるようになっている。         </p>	
資 料	<p>           ○活用できる写真や資料が数多く掲載されており、児童が興味をもって学習に取り組むことができるようになっている。学年の学習内容に応じて、今日的な課題について積極的に取り上げている。            ○地図帳が3学年から使用されることを踏まえ、「地図帳を使おう」の特設ページがあり、地球儀に関する「学び方コーナー」と併せ、効果的に地図帳・地球儀が使用できるよう提示している。            ○「教科関連マーク」により、関連する他教科の学習内容が示されている。         </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>           ○児童キャラクターが案内役として、社会的な事象の見方・考え方をアドバイスしている。            ○当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付している。筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体とゴシック体をバランスよく使い分けている。            ○保存会の人々や役場の人の話など、実際に取材した人の話を随所に設け、様々な仕事に関わる人の姿を取り上げ、共感的に社会に生きる姿に学ぶことができる。         </p>	
総 括	<p>           ○問題解決的な学習を教科書に沿って行えるようになっており、それぞれの学習段階が明確に示されているので、どの段階かを意識して学習に取り組めるようになっている。また、児童が主体的・意欲的に取り組みたくなるよう、写真やイラストなどの資料が見開きで多数掲載されている。            ○キャラクターを活用して、「社会的な見方・考え方」を「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と「方法」（考え方）に分けて提示し、深い学びにつなげることができるようになっている。         </p>	

## 種目【社会科】

書名 項目	<h1>小学社会</h1>	17 <b>教出</b>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○問題解決に活用すべき知識や概念が「キーワード」として明示されており、必要に応じて解説が記され、児童が理解しやすいようにしている。            ○問題を解決していく上で必要な学習技能を「学びのてびき」として紹介している。技能を活用して「社会的な見方・考え方」を働かせた学習の意識化が図れるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○各学年の巻頭には、「社会科の見方や考え方」の視点や方法を例示したコーナーを特設して意識づけを図るとともに、巻頭以外にも視点や方法をていねいに示唆した児童キャラクターの吹き出しが随所にある。            ○「まとめる」のページには、マトリクス表や関係図（ウェビング図）、ダイヤモンドグラム等の思考ツールが例示されており、思考したことを整理したり表現したりしやすくしている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「社会科の学習の進め方」として「つかむ」「調べる」「まとめる」「次の学習や暮らしにつなげる」のモデル図が示され、問題解決的な学習を見通しをもって進めることができる。また、第3学年巻末の「わくわく！社会科ガイド」では、様々な学び方が示されている。            ○人口減少など社会に見られる課題を多く取り上げたり、社会に参画している人々の姿を臨場感豊かに紹介したりして、社会の一員としての自覚を高められるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>            ○問題解決的な学習を進める上で必要な「問い」が各単元、時間ごとに設定されている。このことを通じて、児童は一貫して問題解決的な学習を進めることができるようになっている。            ○多くの単元で「学習問題をつくり、学習の見通しをたてよう」という見開きのページを設け、予想、調べること、調べ方、まとめ方など、学習計画を立てる場面を丁寧に例示している。            ○「次につなげよう」というコーナーが1時間分の最後に記されており、本時に出た新たな問いが、次時につながるように意識された構成になっている。         </p>	
資 料	<p>           ○昔と今を意識した（時間の推移に伴う変化を読み取らせようとする）資料が多く、その変容から疑問にもたせ、学習課題につながるようにする意図がうかがえる。            ○「わくわく！社会科ガイド」等で、地図帳・地球儀の使い方を詳しく説明している。            ○学校や地域の実態に応じて、選択して活用できる多様な内容の教材が設けられている。また、生活科との接続や、道徳、総合的な学習の時間などと教科との関連が図られている。         </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>           ○キャラクターの吹き出しに、社会的な見方・考え方の視点が明示されている。            ○本文にはUDデジタル教科書体を、それ以外にもユニバーサルデザインフォントを使用しており、読みやすい。凡例も、色の区別だけでなく形の区別もあり、区別しやすい配慮が見られる。            ○ユニバーサルデザインによる多様性への配慮を行っている。様々な人々との共生への理解を深める観点から、パラリンアートとして、障がいのある方が描いた作品を教科書に掲載している。         </p>	
総 括	<p>           ○「問い」からの問題解決的な学習の流れが明確で、児童の「問い」を引き出す効果的な資料が配置されている。見開きで「この時間の問い」と「次につなげよう」が繰り返し一貫して示され、思考の流れに沿って主体的・意欲的に学べるように工夫されている。            ○子どものイラストと吹き出しが多く、「見方・考え方」の視点をアドバイスしている。また、まとめたりふり返ったりする際の書き出し等のヒントも多数あり、考える視点が明確である。         </p>	

## 種目【社会科】

書名 項目	<h1>小学社会</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">           日 文         </div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○その単元を学ぶ上で不可欠な社会科用語を「キーワード」として説明している。文章だけではなくイラスト等も合わせて記載することで、視覚的にも理解が深まるように工夫している。            ○「学び方・調べ方コーナー」では、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3項目に分けて提示されており、観察力や表現力育成の一助となり、系統的に資料活用の技能を習得できる。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○社会的事象の見方・考え方を働かせて学習の問題を追究・解決する手だてとなる「見方・考え方コーナー」において、「空間」、「時間」、「関係」の3つを項目として、調べ考えるための視点や方法をこのコーナーで示し、社会的事象の見方・考え方が養われるようにしている。            ○単元末のこれまでの学習を振り返る場面や「さらに考えたい問題」では、学習問題についてみんなまで考えを発表し合い、自分事として考えを深めている様子がイラストなどで例示されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○各学年の巻頭に「社会科の学習でたいせつなこと」を示したり、「この教科書の使い方」で学び方を明記したりして主体的に学習することができる。基本的に1時間1見開きのページで構成され、問題解決的な学習の過程が分かりやすく示され、見通しをもって進めることができる。            ○各単元の終末に「わたしたちの学びを生かそう」が設けられており、多様な教材が例示され、社会の一員としての自覚や伝統・文化などを大切にしようとする態度を高めるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>            ○単元が「わたしの問題」（一人ひとりの素朴な疑問）→「学習問題」（集団で話し合いたい課題）→「さらに考えたい問題」（学習問題の解決後に出た新たな問題）順に展開しており、集団で解決していくことで、個の見方・考え方が高次化していく過程を意識した構成になっている。            ○交流場面（主に対話的な学び）について、適宜、イラストで例示されており、追究していく中で、個が集団と学び合いながら問題を解決していく具体的な場面が設定されている。これまでの学習を振り返ることにより、学習したことを深められるように工夫している。         </p>	
資 料	<p>           ○児童にとって身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材を取り上げている。また、「わたしたちの学びを生かそう」には、社会の新たな取組、社会的問題の資料が多く掲載されている。            ○3・4年の巻末「地図帳の使い方」「地図となかよしになろう」が設定され、地図帳の活用を促している。また、5年で地球儀や地図帳の具体的な活用方法が示されている。            ○生活科や道徳科など他教科とのつながり、中学校との接続も意識した資料構成となっている。         </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>           ○「わたしの問題」本文「友だちの発言」など、キャラクターが主体的な学びを促している。            ○当該学年以上の配当漢字にはすべてにふりがなをつけ、文字は読みやすい教科書体を使用している。またすべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、UDなどを採用している。            ○基本的に見開きのページに学習対象についての情報や資料、学習過程がまとめられていて、学習がスムーズに進むように紙面が工夫されている。         </p>	
総 括	<p>           ○一人ひとりの素朴な疑問である「わたしの問題」からみんなまで追究したい「学習問題」をつかみ、追究後に「さらに考えたい問題」へと繋がっていく構成になっており、問題解決的な学習過程が分かりやすく示され、見通しをもって学習することができる。            ○学習問題に対するまとめの段階において、イラストを用いて話し合いを常に意識させて学習を深めさせる工夫がされている。また、各単元の「キーワード」が学習内容の定着の助けとなっている。         </p>	